平成27年度林業普及指導事業成果発表
特 用 林 産 の 振 興
椎茸の栽培環境・経営改善を目指して

東部農林事務所八頭事務所　普及担当

椎茸栽培の現状

管内の椎茸栽培は、長年乾しいたけ生産が主体。乾しいたけ価格が低迷しているため、栽培意欲が低下している。

椎茸栽培の課題

品質向上、有利販売に取り組むため、ビニール被覆等の設備整備など栽培環境・経営の改善

これまでの取組

平成２４年～　施設設置の推進

↓

平成２５年～施設を利用した栽培技術の定着

↓

平成２６年～有利な販売先への出荷促進

残された課題

施設整備、施設を利用した栽培技術の定着

↓

しいたけ栽培・経営意識の改善

対策

対策１　栽培状況に応じた問題整理
（生産者の自覚・現状把握）

対策２　収量増・品質向上へ向けた栽培指導

対策３　有利販売の推進
（販売計画・品質管理）

有利販売とは　乾より生

乾しいたけ

共選平均単価

４，６００円／ｋｇ

生換算

５９８円／ｋｇ

＜

生しいたけ

直売所平均単価

１，２００～

１，５００円／ｋｇ

有利販売とは　直売所より菌興

直売所

売れ残りが発生

品質が評価されにくい

1,200（円／kg）

＜

菌興

（菌興椎茸協同組合）

全量買い取り

品質毎に単価設定

1,300～2,800（円／kg）

対象者

平成２４年から継続指導している施設整備を導入し意欲的な生産者４名

↓

成功取組事例を管内８０名の生産者に普及し、意識改革を図る

Aさんの場合

対策１　栽培状況に応じた問題整理
（生産者の自覚・現状把握）

Aさんの場合

生しいたけ出荷の流れ

Aさんの場合

販売実績

	生しいたけ		販売額	販売量
	単価（円/kg）	出荷比率（%）	（千円）	（乾kg）
25年	1,200	11%	926	214
26年	1,316	24%	1,092	218

Aさんの場合

対策２　収量増・品質向上へ向けた栽培指導

Aさんの場合

【袋かけ】割れよりしっとりふっくら

Aさんの場合

対策３　有利販売の推進
（販売計画・品質管理）

Aさんの場合

生しいたけ販売計画

生しいたけ
菌興への出荷比率
を上げる

【26年度実績】		
販売額	531千円	
出荷量	403kg	404kg
出荷割合	24%	29%
直売所	23%	10%
菌興	77%	90%

Aさんの成果

1･2月の生しいたけ出荷販売額

H27　54千円 → H28　213千円

Bさんの場合

対策１　栽培状況に応じた問題整理
（生産者の自覚・現状把握）

適期栽培をして
良品生産！！

適期

質より量 本で作業する

有利な販売先では品質での価格差が生じる

直売所
1200
～1500
（円／kg）

菌興(H26)
1200～2000
平均1517
（円／kg）

Bさんの場合

対策２　収量増・品質向上へ向けた栽培指導

Bさんの場合

植菌時期

３月に植菌を開始すると植菌完了が遅くなる。

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
植菌適期								
26年度								
27年度								

Bさんの場合

ほだ起こし

芽切ってからほだ起こしをすると
- 一斉発生してしまい、大きなしいたけにならない
- 芽切ったしいたけが取れたり、変形する

Bさんの場合

対策３　有利販売の推進
（販売計画・品質管理）

生しいたけ
菌興への出荷比率
を上げる

生しいたけ販売計

【26年度実績】

販売額	1,491千円	2,451千円
出荷量	1,398kg	1,975kg
出荷割合	49%	56%
直売所	87%	59%
菌興	13%	41%

Bさんの場合

1・2月の生しいたけ販売実績

		販売額（千円）	出荷量（kg）	単価（円／kg）
27年	直売所	90	75	1,200
	菌興	141	85	1,659
	計	231	160	1,444
28年	直売所	34	28	1,200
	菌興	498	277	1,798
	計	532	305	1,743

生しいたけ販売単価
1．444円／kg→1．743円／kg
菌興への出荷比率
53％→91％

生しいたけ有利販売に取り組んだ生産者による販売実績を発表

1月販売実績

		菌興	直売所		合計
		鳥取茸王	通常	115	
27年	数量(kg)		10.8		10.8
	販売額(円)		16,200		16,200
28年	数量(kg)	15.5	4.5	15.6	35.6
	販売額(円)	35,834	6,000	27,600	69,434

生しいたけ
有利販売に関心を示す

成果

有利な販売先菌興への出荷者(1月末)
2名　→　4名
16kg→219kg
30千円→393千円

成果

生しいたけ出荷のための
ビニールハウス設置　　1名

28年度は　　16名予定

成果

鳥取茸王・とっとり115登録生産者
26名

これから

成功取組事例(収益増モデル事例)を
生産者へ紹介

↓

しいたけ栽培・経営意識の改善
個々の経営計画の作成

↓

既存生産者の経営改善
新規生産者の獲得

ご清聴ありがとうございました